

謹賀新年

町民の皆さんにおかれましては、穏やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げるとともに、令和八年の幕開けにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は国内各地で地震や大規模火災、豪雨災害などが相次ぎ、「命と暮らしを守る備え」の重要性を突きつけられた一年でした。被災された皆さんと、今なお不自由な生活を強いられている方々に、斜里町民を代表して心よりお見舞いを申し上げます。また、物価高やエネルギー価格の上昇など、家計や事業運営にも厳しい局面が続いた年でもありました。

今年の抱負を聞いてみました！

①今年の抱負
②その理由
をインタービュー！

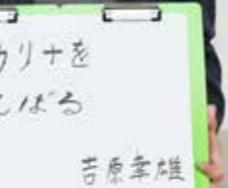
SOULWAVEの
みなさん

(左から) 畑中 みそらさん①【ソロができるように練習する!!】②(9月から) ダンスを始めたばかりだけど6年生になったらソロを踊れるようになりたい！ / 音田 千穂梨さん①【なるべくふりを早く覚える】②細かいふりにもっと練習時間がさけるように、全体のダンスのふりを早く覚えたい！ / 今野 茉耶さん①【ソロができるように】②前の列にいる人が上手にソロを踊ってるから自分も踊れるようになりたい！ / 福田 愛季さん①【ダンスを上手くなりたい】②最前列で踊ってる人がかっこいいから自分もそうなりたい！ ※【】はプラカードから転記。



(左から) 阿部 航平さん①【前途洋々】②新しく家を建てているので、これまで以上にステキな1年にできればと思います。 / 丹 雅人さん①【家族みんな健康で過ごす!!】②家族が生まれるので新しい年も健康に過ごしていきたいと思います。

斜里町
生きがい大学の
学生さん



吉原 幸雄さん①【コカリナをがんばる】②長年続けてきた尺八からコカリナに持ち替えて15年。今年も引き続き頑張って吹いていきたいです。

1954(昭和29年)	昭和天皇・皇后両陛下斜里町へ御巡幸。
1966(昭和41年)	学校給食センター完成、給食開始。市民水泳プール完成。
1978(昭和53年)	斜里町100年・町制40年記念式典。はまなす保育園開設、3つ目の常設保育園に。
1990(平成2年)	知床国立公園内が森林生態系保護地域に指定。
2002(平成14年)	ウトロ小中学校新校舎完成。
2014(平成26年)	峰浜小学校閉校、103年の歴史に幕。知床国立公園50周年記念シンポジウム開催。

振り返って
みよう
午年にあつた
斜里のできごと

町内においては、一昨年に策定した「第七次斜里町総合計画」のもとで、本格的なまちづくりが進み始めた一年でした。子育て・教育環境の充実、地域公共交通の維持・再構築、デジタル技術を活用した行政サービスの向上、そして何より地域医療と福祉の体制づくりを重要な課題と位置づけ、「十年後の斜里町の姿」を見据えながら、まだ十分に皆さまのご期待に応えられておりませんが、その実現に向けた取り組みを一つひとつ積み重ねているところであります。

また、車座ミーティングなどを通じて町民と意見交換を重ね、世代を超えて地域の課題や将来像を語り合う輪を広げていきたいと考えています。

昨年は、「知床世界自然遺産登録二十年」の節目の年でもありました。これまで自然保護と地域振興の両立に尽力されてきた多くの先人や関係者の歩みに思いを寄せつつ、記念事業やシンポジウム、学校や地域での学びの場を通じて、「顕著で普遍的な価値」とは何かを、町民の皆さんと共有する年となりました。

また、大阪・関西万博が開催され、「いのち輝く未来社会の「デザイン」というテーマのもと、世界中で知恵と技術を持ち寄り、持続可能な社会のあり方を考える機会となりました。私自身も、その潮流を、世界自然遺産「知床」を抱く本町のこれから歩みとどのように結びつけていくのか強く意識させられました。

した来訪者も増え、観光のスタイルが変化しています。野生動物との距離の取り方や、安全・安心な受け入れ体制の整備といった課題に向き合いながら、「選ばれる町」「何度も訪ねたくなる町」を目指し官民一体で取り組みを進めてまいります。

令和八年は、丙午(ひのえ・うま)の年にあります。勢いよく駆ける馬の姿には、前向きに道を切り拓き、新たな挑戦に踏み出す力強さが重ねられてきました。また「丙」は、強い光や太陽を象徴し、困難に向き合い道を切り拓くエネルギーを表すといわれています。

人口減少や少子高齢化、気候変動などで自然保護と地域振興の両立に尽力され、この干支にあやかり、「だからこそ」といわれています。



令和八年 元旦
斜里町長
山内 浩彰

町としても、「町民の声に耳を傾け、ともに考え、ともに行動する」姿勢をいつそう大切にしながら、第七次総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、全力で取り組んでまいる決意です。

これまで、そしてこれからも変わることなく斜里町の主役は、ここで暮らす一人ひとりの町民の皆さんです。子どもたちが夢や希望を語り、若い世代が将来を描き、高齢者の

皆さまが安心して暮らしあげられること。そして、地域で支え合いでいる。野生動物との距離の取り方や、安全・安心な受け入れ体制の整備といった課題に向き合いながら、「選ばれる町」「何度も訪ねたくなる町」を目指し官民一体で取り組みを進めてまいります。

町としても、「町民の声に耳を傾け、ともに考え、ともに行動する」姿勢をいつそう大切にしながら、第七次総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、全力で取り組んでまいる決意です。

町としても、「町民の声に耳を傾け、ともに考え、ともに行動する」姿勢をいつそう大切にしながら、第七次総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、全力で取り組んでまいる決意です。